

伊達市財政構造改革プログラム

- 伊達市財政計画（R4～R9）や伊達市行財政改革指針（第4次）に基づき、中長期的な視点に立った健全な財政運営を実施
- 今までの取組をより一層推し進め、将来の伊達市を支える健全で柔軟な財政構造へと変革が必要で、計画期間において取り組んでいく具体的内容等を記載した財政構造改革プログラムとして策定（計画期間：R7～R9当初予算）

当初予算規模

R6

当初

330

億円

R7

当初

309

億円

取組状況

歳出

歳出見直しの具体策	R6取組内容（R7当初予算）
1 総人件費の抑制（会計年度任用職員数）	▲12人（R6：439人、R7：427人※R7のみの事業に伴う任用含まない）
2 内部管理経費削減の徹底	▲30,016千円（需用費：23,755千円、旅費：5,033千円、自動車借上料：1,228千円）
3 事務事業の見直し	▲159事業（R6：619事業、R7：460事業）
4 補助金及び交付金の見直し	▲435,612千円（補助金及び交付金） ※当然減含む
5 投資的経費の規模の抑制	▲900,974千円（工事請負費） ※当然減含む
6 業務改革による人的・財政的負担の軽減	デジタル化を推進するため動画研修の実施
7 伊達市公共施設等総合管理計画との連動	LED改修工事を推進するため有利な地方債を活用
8 公社の経営統合による財政的負担の適正化	公社の統合へ向けた支援と課題抽出
9 公債費圧縮と平準化	交付税措置のある地方債の検討、資金区分の変更の検討

取組状況

歳入

歳入確保の具体策	R6取組内容（R7当初予算）
1 市税等収入の確保	R6は財政課で歳入確保を推進するための課題を抽出し、R7より全庁で具体的な検討をしていく。
2 使用料・手数料等受益者負担適正化の推進	
3 未利用財産の活用	
4 その他の収入の確保	

取組成果

- 歳出については、前年度比▲20.6億円で大幅な歳出見直しすることができましたが、更なる見直しを実施し、予算規模290億円程度を目指していきます。
- 歳入については、具体的な方策を検討し、成果を出せるよう取り組んでいきます。